

オホーツクサイクリングルート



○オホーツク地域の特徴的で魅力的な観光資源を活かしながら、サイクルツーリズムの振興による広域的な周遊観光等の地域振興を実現するべく、「北海道サイクルルート連携協議会」と連携・協働した取組を行うことを目的として、令和元年から活動を実施。

オホーツクルート協議会

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等の検討を実施
- ・メンバー(北見市、網走市、小清水町、大空町、美幌町、運輸支局、振興局、サイクリング協会、知床サイクリングサポート、北海道エアポート(株)、オホーツク21世紀を考える会、道路管理者)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。



(案内看板シール)



(路面表示(矢羽根))

○統一したルート案内

- ・道路付属物(道路 標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付。
- ・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内。

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

- ・民間施設や関係機関と連携し、休憩施設の箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

- ・サイクルトレーラー付き車両(ハッカミントエキスプレス)でサイクルツアー時の移動サポートを行う。

○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

- ・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携し、サイクリングイベントの実施を進める。
- ・フォーマットを統一した持ち運びしやすいサイクリングマップを制作し、道の駅や空港等の拠点施設と連携しながら作成し配布する。
- ・ルートの特徴である流氷景観やファットバイクを活用した冬季のサイクルイベント等のオホーツク地域の魅力をHPやマップ、動画、サイクルステーション等を活用して発信する。



ハッカミントエキスプレス



北見サイクルステーション



流氷ライド

全長約321km

凡例

- 基幹ルート
- 自動車専用道路
- 一般国道
- 主要道路・一般道道
- JR線
- 道の駅
- 空港

